

Molecular Medicinal Chemistry

2 units alternate-year(2nd semester)

Shigeki Sano(Manager) · PROFESSOR / PHARMACEUTICAL CHEMISTRY

Target) 薬学系独自の特色ある創造性豊かな創薬化学研究を展開するうえで、創薬化学研究者として必要とされる基礎知識と応用能力の習得を目的とする。

Outline) 医薬品リード化合物を分子設計し合成開発するために必要不可欠な、ヘテロ環化合物を中心とした創薬のための基礎化学、ならびに分子構造特性やベータラクタム系抗菌剤などに関する応用化学について講義する。

Notice) 講義は集中講義形式で行う予定。最終回の講義終了時に試験問題を配付する。「自ら学ぶ」という積極的な姿勢を期待する。

Schedule)

1. 授業ガイダンスおよび創薬のための基礎化学概説 (担当者: 佐野 茂樹)
2. 創薬のための基礎化学 1 / ピリジンおよび関連ヘテロ環化合物の化学 (担当者: 佐野 茂樹)
3. 創薬のための基礎化学 2 / ピロールおよび関連ヘテロ環化合物の化学 (担当者: 佐野 茂樹)
4. 創薬のための基礎化学 3 / 含酸素および含硫黄ヘテロ環化合物の化学 (担当者: 佐野 茂樹)
5. 創薬のための基礎化学 4 / ヘテロ環化合物の立体化学 (担当者: 佐野 茂樹)
6. 創薬のための基礎化学 5 / オレフィン形成反応 (担当者: 佐野 茂樹)
7. 創薬のための基礎化学 6 / オレフィン形成反応 (担当者: 佐野 茂樹)
8. 創薬のための基礎化学 7 / 酵素反応 (担当者: 佐野 茂樹)
9. 創薬のための基礎化学 8 / 酵素反応 (担当者: 佐野 茂樹)
10. 創薬のための応用化学概説 (担当者: 佐野 茂樹)
11. 創薬のための応用化学 1 (担当者: 外部講師)
12. 創薬のための応用化学 2 (担当者: 外部講師)
13. 創薬のための応用化学 3 (担当者: 外部講師)
14. 創薬のための応用化学 4 (担当者: 外部講師)
15. 創薬のための応用化学 5 (担当者: 外部講師)

Evaluation Criteria) 出席状況とレポート試験により評価する。

Textbook) 必要に応じて講義資料を配付するとともに、参考書等を紹介する。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217085>

Contact)

⇒ 佐野 茂樹

(研究室) 薬学部・分子創薬化学研究室(本館6階東)

(研究室のホームページ) <http://web.ph.tokushima-u.ac.jp/mmc.html>

(Eメールアドレス) ssano@ph.tokushima-u.ac.jp

(オフィスアワー) 随時

Note) 平成 24 年度後期開講

受講希望者は平成 24 年度前期に開講される創薬科学特論の授業ガイダンス(佐野担当)に出席して下さい。